

「骨太の方針」の実像

中



愛知県豊田市にあるトヨタ自動車本社

「新しい資本主義の加速」を掲げる「骨太の方針」のキーワードは二つです。一つは、「三位一体の労働市場改革」です。もう一つは、「官民連携」です。

「三位一体の労働市場改革」(△リスキリング△職務給△成長分野への労働移動の

市場の在り方は、次のようなものです。まず、労働者自身が、『企業利益を生み出す能力』を高めるために、個人の、個々の労働者には、自己責任強いる

仕事で技能を向上させるとい

う危険もあります。企業利益の強化に貢献しない労働者は、

ちは、切り捨てる対象となる

でしょう。

「官民連携」を掲げる骨太

の方針は、「予算・税制、規

制・制度改革を統動員して、

が容易になるように制度を改

め、政府・財界が「成長分

野」だと想定している産業に

人材を集中させることです。

では過少投資となりやすい分

野について、官が的を絞った

公的支出を行い、これを呼び

ます。さらに、「経済安全保障

など市場や競争に任せただけ

では過少投資となりやすい分

野について、官が的を絞った

公的支出を行い、これを呼び

ます。さらに、「経済安全保障

大企業に巨額の税金

間を管理するという企業側の責任もあいまいになってしまふ危険もあります。企業利益の強化に貢献しない労働者は、切り捨ての対象となるでしょう。

「官民連携」を掲げる骨太の方針は、「予算・税制、規制・制度改革を統動員して、国が呼び水となる政策を集中的に展開する」と強調します。しかし、「単年度主義」を形骸化しようとしています。十島雅和経団連会長は19年度の記者会見でこのことでも、子育て、軍事、GX（グリーンドランプフォーメーション）・脱炭素の分野を挙げ、「單年度で議論できる話ではなく5年、10年、20年で議論していく話」であり、「経団連が強く申し上げて来た成果だ」と強調しました。

会計年度ごとに予算を作成し国会で審議する財政民主主義の根幹への攻撃にほかならないません。

官民連携の名で「骨太の方針」が「経済成長のエンジン」と見込んでいるのはAI（人工知能）、量のものです。（ウウウ）

「骨太の方針」が進める経済政策は、大企業には「官民連携」の名で、湯水のように税金を注ぎ込み、労働者に自口責任を押し付け、とい